

デジタルカメラとプロジェクタ



使用方法について

撮影した写真を投写するために

はじめに

手順を確認しましょう

- 1 使用機器や必要物品を準備する。
- 2 使用場所に置き，各機器をコンセントに接続する。
- 3 デジタルカメラに付属されているAVケーブルで接続する。
- 4 電源を入れる。
- 5 デジタルカメラの写真をプロジェクタから投写させる。
- 6 映像を調節する。

1 使用機器や必要物品を準備する

必ず準備するもの

デジタルカメラ
プロジェクタ
デジタルカメラに付属されているAVケーブル

必要に応じて準備するもの

デジタルカメラ用電源コード
電源用延長コード
プロジェクタ台

2 使用場所に置き，各機器をコンセントに接続する

プロジェクタを，使用したい場所に置き，コンセントに接続します。近くにコンセントがない場合は電源用延長コードを使って接続します。デジタルカメラも必要であれば電源用コードを用いてコンセントに接続します。

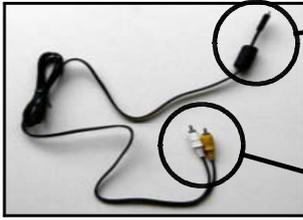


接続

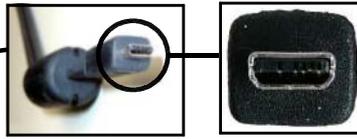


3 AVケーブルで接続する

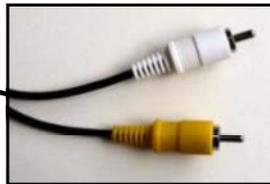
< デジタルカメラに付属
されているAVケーブル >



< デジタルカメラ側接続プラグ >



< プロジェクタ側接続ピンプラグ >



白：音声用
黄：映像用

AVケーブルをデジタルカメラに接続します。

< デジタルカメラ側面 >



< カバーを開け，[AV OUT]端子にAVケーブルを接続する >



接続

差し込むときは向きに
注意しましょう。

AVケーブルをプロジェクタに接続します。

< ビデオ・音声入力端子にAVケーブルを接続する >



接続

同じ色同士を接続しましょう。

VIDEO IN (黄)：ビデオ入力端子

AUDIO IN L (白)：音声入力端子

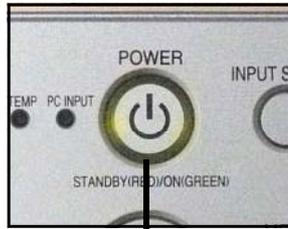
4 電源を入れる

電源を入れ、プロジェクタから投写できるようにします。

電源ボタンを押す → 電源がオンになる → 投写できる状態



赤色



緑色



デジタルカメラの電源を入れ、モードダイヤルを再生モードに合わせます。

デジタルカメラの電源スイッチを入れる（電源をOFFからONへ）



モードダイヤルを再生モードに合わせる



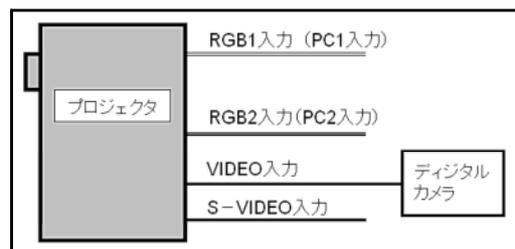
のマークが再生モードを表しています。
印のところにを合わせます。

5 デジタルカメラの写真をプロジェクタから投写する

プロジェクタ側の操作 ~ プロジェクタをVIDEO入力にします。

プロジェクタへの入力信号を選択します。デジタルカメラをプロジェクタのVIDEO入力端子に接続しましたので、VIDEO入力からの信号を選択します。

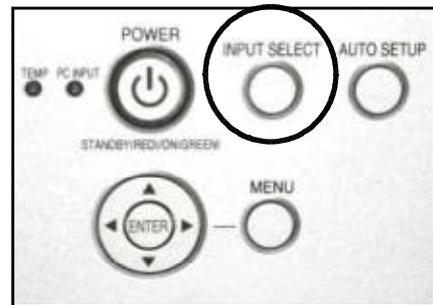
プロジェクタ本体やリモコンにある「入力選択ボタン (INPUT SELECT)」や「ダイレクト入力選択ボタン (DIRECT INPUT SELECT)」を押して設



定します。入力信号が1つだけの場合、プロジェクタが自動的に入力選択を設定してくれるものもあります。

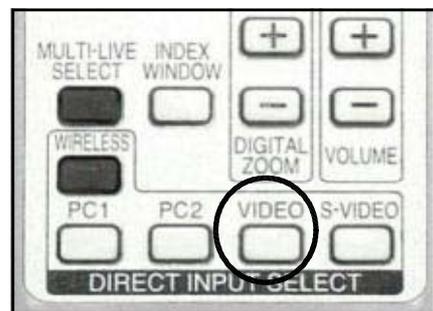
< プロジェクタの操作ボタン >

プロジェクタ本体にある「入力選択ボタン (INPUT SELECT)」を押し、V I D E O入力に設定します。
押す毎に、入力信号がR G B 1 , R G B 2 , V I D E O入力等に切り替わります。



< リモコンの操作ボタン >

リモコンにある「ダイレクト入力選択ボタン (DIRECT INPUT SELECT)」のV I D E O入力を押し設定します。



デジタルカメラ側の操作 ~ 提示したい写真を選択します。

デジタルカメラの電源を入れ再生モードにすると、記録されている写真がデジタルカメラの画面に映し出されます。画面に映し出された写真がプロジェクタから投写されます。

< デジタルカメラの画面 >



< スクリーンに投写された写真 >

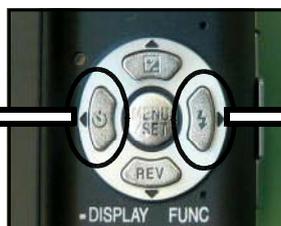


記録されている写真が何枚もある場合は、デジタルカメラの「カーソルボタン」を押して、提示したい写真を選択します。左右のカーソルボタンで写真が入れ変わります。

< 前の写真へ >



< カーソルボタン >



< 次の写真へ >



6 映像を調節する

プロジェクタの映像を調節する方法については、P 5 からの「コンピュータとプロジェクタ、6 映像を調節する」に記載してあります。そちらを参考にしてください。

留意点について

1 写真を提示しているときに、自動的に電源が切れてしまわないために

バッテリー使用時では、一定時間何も操作しないと、バッテリーの消耗を防ぐためのパワーセーブモードになり、自動的に電源が切れてしまいます。

授業でデジタルカメラの写真を提示するとき、バッテリー使用時では、写真を提示した状態のまま一定時間何も操作しないと、パワーセーブモードにより自動的に電源が切れてしまう場合があります。写真を見せたり、写真の説明をしているときに、電源が切れて写真が投写されなくなると、生徒の集中力を途切れさせる原因にもなります。

授業で使用するときには、自動的に電源が切れないようにするために、パワーセーブモードを解除しておきましょう。解除する方法は、デジタルカメラのセットアップメニューの中から「パワーセーブ」を選択し設定を「OFF」にします。

デジタルカメラに電源用コードが付属されている場合は、電源用コードでコンセントに接続して使用してもよいでしょう。コンセントに接続して使用しているときには、パワーセーブモードは働きませんので自動的に電源が切れる心配はありません。

<メニューボタンを押しセットアップメニューを表示する。>

MENU/SETボタン

